

その他

工賃 本園支給基準により査定（年3回）、毎月支給（18年度平均15,072円/月）

○障がい者福祉の移り変わり

普遍的な福祉へ

・「福祉は特別な人（弱者）のためのもの」から「誰もが利用する福祉」へ

・「措置（行政処分）」から「契約（消費）」へ例）支援費制度、介護保険

※自己選択・自己決定・自己責任により施設サービスを利用する制度

○財源の破たん

・サービス利用の増加

増え続ける利用で3年間で財源の確保が困難→財源の見直し→義務的経費化（必要分を予算措置）介護保険との統合も検討

○障害者自立支援法の施行（平成18年4月）「障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指す」

・サービス利用に応じた（応益）負担と財源の確保

・市町村が責任を持って一元的にサービスを提供

・支給決定の透明化・明確化

・三障がい（知的、精神、身体）一元化し、施設・事業体系の再編、地域移行

・就労支援の強化

○見えてきたもの

1. 重い自己負担

・所得保障のない自己負担

・障がいの重い人ほど多額の自己負担

・生活保護費より厳しい

2. 地域間格差の拡大

財政が豊かで負担軽減策やサービスの多い都市（町）を求めて『福祉移民』

3. 必要な福祉サービスを利用できない

・介護保険判定ソフトを使用しているため、知的障がい者の特性が反映されない

・2/3が入所施設を出ないといけない

・知的障がい者には社会性を測る尺度が必要

4. 懸念される福祉サービスの質の低下

・相反する利用者と施設の関係

利用者：利用を控え負担金を軽減したい（引きこもりへ）

施設：収入の確保

・施設基準の引き下げ

職員配置基準

現行→利用者7.5人 対 支援員1人

改正後→利用者10人 対 支援員1人

※福祉サービスの質の低下と確保が困難

5. 財源不足を預貯金等の絞り込みでカバー

6. 家族に影を落とす障害者自立支援法

・重い障がいほど家族への依存度が高まる（老若介護）

・将来に対して高まる不安

「子どもだけでなく年老いた親の介護もしており、先が見えない」「国の都合で、なぜ弱い立場の障がい者が負担を強いられなければならないのか」「娘が安心して暮らせる場所を奪わないで」「地域に受け皿ができてない状況で、入所施設を出てからどうやって暮らせるのか」

7. 生存権の侵害

『憲法第25条（生存権）』

すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

自己負担により、生活保護世帯（最低限度）以下の生活を余儀なくされる。

「自立支援法」→「自立阻害法」

8. 障害者自立支援法の問題点（まとめ）

・障害者基本法との整合性に欠け、まして支援費制度との連続性がない

・法の理念と施策より予算が優先

・障がい者の厳しい現実や生活実態の把握と分析が不十分

・所得のない人への応益負担

真の障害者自立支援法を目指して

これまでも新しい法律が制定されれば、法の理念と施策が予算優先の為、実態と乖離し、現実の厳しさをつきつけられることがありました。この法律が、障がいのある人たちの実態と如何に迎合していないかを、福祉関係者のみならず広く市民の皆様の理解と共感を得るものでなければ政治を動かす真の法律はできません。

私どもは、見直しの働きかけを根気強く続けていく所存です。市民の皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

（文責：二反田）

2006～2007年度



中津平成週報

国際ロータリー2720地区

中津平成ロータリークラブ

会 長	松 本 幹 夫
幹 事	青 木 秀 暢
会報委員長	二反田新一

例会日／毎週木曜日 12:30

例会場／中津オリエンタルホテル ☎24-8111

事務局／〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

☎0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

メール／office@n-heisei.org

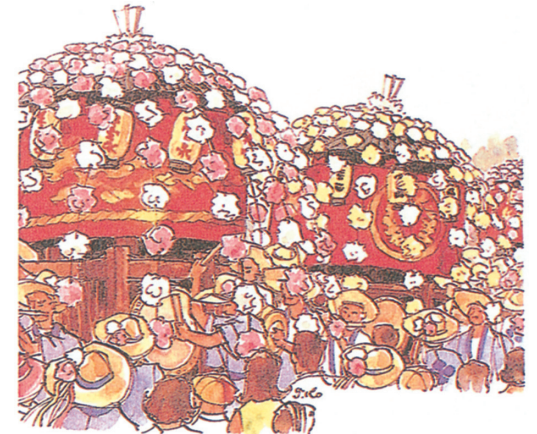
ホームページ／http://www.n-heisei.org/

2006～2007年度 国際ロータリー・テーマ

率 先 し よ う

LEAD THE WAY

国際ロータリー会長 ウィリアム・B・ボイド



第838回例会 平成19年5月31日（木）

◎本日の例会プログラム

ゲスト卓話 中津市社会福祉協議会
中津支所長 青佐 尚義氏

○次回例会プログラム

ゲスト卓話 大分県老人施設協議会（いずみの園施設長）
会長 富永 健司氏

前回（837回例会）の記録 平成19年5月24日（木）

■ビジター

日田RC 草野義輔君（ガバナー補佐）

中津RC 中野 登君

■出席報告

会 員 数 26名

免 除 者 数 0名

対 象 者 数 26名

本日出席者 21名

欠 席 者 数 5名

出 席 率 80.77%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 6名

メイクアップ 2名

欠 席 者 4名

修正出席率 77.78%→ 85.19%

●メイクアップ

熊谷（大分）

梶原（中津）

●欠席者

土居、白石、渡邊、松岡

ロータリーソング

それでこそロータリー

会長の時間



会長 松本 幹夫
先週、沖縄が梅雨入りしたお話をしましたが、今週も梅雨の事が東西南北（大分合同新聞）に載っていたので紹介して会長の時間とします。

「好きな季節は」と聞かれて「梅雨」と答える人は、そう多くはいないだろう。じめじめする。蒸し蒸しする。洗濯物が乾かない、かびが生える…確かに好まれる季節ではない。ところが作家の故・宮脇俊三さんは違った。宮脇さんは鉄道をこよなく愛し、列車の旅を題材にした多くの秀逸な作品を残している。その1冊、「旅は自由席」の中で「私は梅雨の旅が好きである。日が長い。乗りものや宿が空いている。」と述べ、山肌にも霧が煙って水墨画のような梅雨時の風景も称賛している。旅という非日常の中での梅雨の“良さ”かも知れないが、好き嫌いは別にして、日本人の生活には梅雨は欠かせない。真夏でも川の水が枯れないのは、たっぷり降った雨のお陰だし、田植えに必要な水も梅雨がくれる。集中豪雨による災害は起きてほしくないが、私たちの命を支える水をもたらす梅雨を「うとうしい」なんて言ったら罰が当たりそうだ。

幹事報告



幹事 青木 秀暢
●例会変更 宇佐RC、湯布院RC、宇佐八幡RC
●週報受理 宇佐八幡RC、宇佐2001RC
●幹事報告
・中津RC、中津中央RC

より6月の例会プログラムが届いています。
・中津市青少年健全育成市民会議の役員総会の案内が届いています。
・クラブ協議会 6月7日（木）18：30～嘉乃にて。

●ガバナー補佐アドレス 日田RC

草野義輔ガバナー補佐
ガバナー補佐としての任期も無事に終わろうとしています。この1年間ガバナー補佐として、会員増強とCLPの普及を大きな目的として来ました。中津平成RCさんは2月現在において、純増1名ということで、まずまずの功績をあげられているとお聞きしています。今後も会員増強に関しては、頑張って頂きたいと願っています。CLPに関しては、今後も説明会・勉強会を通じて普及に努めてまいります。皆様方のご支援で、無事にガバナー補佐の任期を終えることができそうです。大変ありがとうございました。



委員会報告

・親睦委員会

田原委員長
親睦バス旅行の件、出欠表を回します。よろしくお願いします。



・榎本次年度幹事

1. 次年度の第2回クラブ協議会を6月14日（木）18：30～オリエンタルホテルで行います。ガバナー補佐も出席予定ですのでよろしくお願いします。
2. 次年度の理事会を6月14日（木）例会終了後行います。7月のプログラムの承認をお願いしますので、梶原次年度プログラム委員長、プログラムの作成をお願いします。



・家庭集会開催について 二反田会員

家庭集会・二反田班は6月4日に扇八（日の出町）にて18：30より行います。



・家庭集会開催について 岩淵会員

家庭集会・岩淵班は5月29日18：30～仲町の「いわた」にて行います。



ニコニコボックス

担当：クラブ奉仕委員会

○二反田会員

本日週報担当でしたが、遅刻してしまいました。申し訳ありません。大学1年の長男が、麻疹流行のため学校が2週間休講になり東京から帰省してきました。



○辛嶋会員

先週の次期クラブ協議会を欠席してしまい、皆様にはご迷惑をおかけしました。



○草野ガバナー補佐

ガバナー補佐として今期最終訪問ということでスマイルさせていただきます。ありがとうございました。



○小路会員

このほど私の二男と院長を交代しました。まったくのフリーと成りましたので、今後ロータリーの活動に関してもいろいろお手伝いができそうです。また、火曜日のみは、従来どおり診察を行います。後継者ができたことで安堵しております。



○若松会員

先週の次期第1回クラブ協議会にお忙しい中のご出席ありがとうございました。皆様からの温かいご支援の言葉を沢山いただき、次期なんとか進めて行く自信ができてきました。

家内の日舞教室が6月24日（日）市民会館で公演を行います。大きな出し物も予定していますので、ご興味のおありの方には招待券を差し上げますので、お声をかけて下さい。



ゲスト卓話

「障害者自立支援法で見えてきたもの」

知的障がい者通所授産施設 もみじ園
園長 平原 伸氏



知的障がい者通所授産施設

もみじ園 概要

所在地 中津市耶馬溪町大字平田1479-1

設立 昭和60年4月1日

設置運営主体 社会福祉法人下毛もみじ会

※下毛郡内の知的障害者の保護者で設立

施設定員 利用定員28名、現員30名 職員12名（常勤9名、非常勤等3名）

関連事業 グループホームとちの木（定員5名）

授産種目 農作業（低農薬野菜、米栽培）、もちつき作業（正月用、イベント用）、かきもち・あられ製造販売、自動車部品簡易作業、集成材関連作業、ボカシ製造、廃食油石鹸製造、清掃作業、